

Relationship

JTSU-E Shinagawa Mail News

JTSU-E 品川支部
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-SHINAGAWA

2020.5.9
NO.067

東京地本
申5号

「生命」を守ることを最優先とし、「緊急事態宣言」での
「新たなジョブローテーションの実施」の一旦中止・見直しを求める緊急申し入れ
団体交渉を行う！

1. 「緊急事態宣言」が発せられている間のジョブローテーション異動を一旦中止し、各職場における万全な体制を整えること。また、社員の「生命」と「健康」を最優先とした運用・対策を講じること。

【会社の回答】

新型コロナウイルス感染症については、「対策本部」を設置したうえで、感染防止対策の徹底に取り組むとともに、休暇等についても一時的な取扱いを実施しているところである。なお、社員の運用については、任用の基準に則り取り扱う。

【会社の認識】

●緊急事態宣言

- ・新型コロナウイルスにおける「緊急事態宣言」については、感染拡大防止のため国から出されたものとして重く受け止めている。
- ・危機管理本部の指示により、感染拡大防止の取り組みやそれに関わる勤務の一時的な取扱い、日付の上限の変更などを社員に寄り添い対応をしている。

●ジョブローテーション

- ・「緊急事態宣言」の重みを受け止めながら、コロナウイルスが拡大される状態の中でも会社の経営に関わる必要な施策を進めていかなければいけない。
- ・コロナウイルスに対する対応をしっかり対策を行い乗り越えていく
- ・「緊急事態宣言」の重みとジョブローテーションの進め方、どちらも重要だ。

【組合の主張】

- ・ジョブローテーションの目的は「新たな輸送サービスの価値の創造に貢献できる社員の育成」であり、教育や成長を求める人事異動である。「緊急事態宣言」が出されているこの時期に無理やり異動をかける根拠が全くない。
- ・新入社員の配属や運転士研修のスケジュール・車掌研修のスケジュールなど養成計画されているのか不明な中、ジョブローテーションの異動を行うことは要員問題や現場力低下につながることは明らかである。
- ・東京地本は首都圏の輸送を行う事から万全の体制をとらなければならない。この異動を行うことにより輸送力の低下を起こすことは公共交通機関としてエッセンシャルワーカー（※）としての責任問題となる。そのことを会社は認識すべきだ。
- ・職場では新たな運転取り扱いの変更やライフサイクル者の養成、新人運転士養成さらにジョブローテーションの異動に伴う養成も行っており教育を行う側のあらゆる業務が逼迫している。教育は安全の問題であり、事故を起こせば会社の発展はあり得ない。

※エッセンシャルワーカーとは？

医療従事者や公共交通機関職員、物流、販売などの業務に従事する人たちを指す言葉。

**現場の組合員からは不安の声が続出している！
会社に「緊急事態宣言」発出中でのジョブローテーションによる異動の
一旦中止・見直しを強く求めます！！**